
九州運輸局メールマガジン 平成 29 年 7 月 6 日 第 361 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 29 年 7 月 20 日（木）です。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・「めざせ！海技者 セミナー in FUKUOKA」を開催しました～船員をめざす方への企業説明会・就職面接会を実施～
- ・「九州クルーズ振興協議会総会」及び「第 18 回海事振興セミナー」を開催しました
- ・「VISIT JAPAN EAST ASIA Travel Mart2017」が開催されました
- ・JR 貨物 鹿児島貨物ターミナル駅で鉄道コンテナ施設等見学会を開催しました～モーダルシフトの推進に向けて～

2 お知らせ

- ・7 月 17 日（海の日）「小学生 乗船無料キャンペーン」
- ・海の日記念 16mm フィルム上映会
- ・「訪日ウェディングツーリズムセミナー・交流会（香港市場）」への参加募集について

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場レポート

- ◆「めざせ！海技者 セミナー in FUKUOKA」を開催しました
～船員をめざす方への企業説明会・就職面接会を実施～

◎九州運輸局では、6 月 21 日（水）、海の職場をめざす学生や、船の仕事に興味のある方を対象に、海運企業とのマッチングを推進し、船員の雇用促進を図ることを目的に「めざせ！海技者 セミナー in FUKUOKA」を開催しました。福岡での開催が 13 回目となった今年のセミナーでは、「内航船員就職セミナー」や海運企業と面談方式の「企業説明会・就職面接会」を行いました。

◇内容

- ・「内航船員就職セミナー」

内航海運企業で船員の育成の業務を担当している方を講師に迎え、海上技術学校生、水産系高等学校生に対し、船員の仕事や職場環境、心構え（シーマンシップ）などについて、わかりやすく説明していただくとともに、学生と歳の近い入社間もない先輩船員にも参加してもらい、船員業務の厳しさややりがいなど生の声で船員としての経験談を紹介してもらいました。

- ・「企業説明会・就職面接会」

国内有数の船員供給地である九州運輸局管内には、船員の教育機関が多数あり、当

日は海上技術学校 2 校、水産系高等学校 5 校から、191 名の学生の参加がありました。また、その他船員をめざす商船系高等専門学校生や退職予定の海上自衛官、一般の求職者の方など参加総数は過去最高となる 261 名の参加があり、全国から参加いただいた 38 社の海運企業による企業説明、就職面接会は活況を呈するものとなりました。

◇九州運輸局からのメッセージ

・どの企業ブースでも順番待ちとなるほど盛況で、会場内は、将来に向けて会社の概要や船舶の就航航路など少しでも多くの情報を得ようとする生徒等と、優秀な船員を確保しようとする企業、双方の熱気・活気に溢れていました。

・当日は、テレビ局 3 社の取材もあり、ニュースで放送されたため、海運の重要性や船員不足問題を広く PR することができました。

・船員不足は一朝一夕には解消しませんが、一人でも多くの方が、日本の海運を支える船員となってくれるよう、今後も人材の育成、確保に向け、継続して取り組んでいきたいと思えます。

(海事振興部 船員労政課)

◇セミナーの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_361_1.pdf

◆「九州クルーズ振興協議会総会」及び「第 18 回海事振興セミナー」を開催しました

◎6 月 23 日（金）、自治体や観光に係る関係者などで構成する九州クルーズ振興協議会（事務局・九州運輸局）は、福岡合同庁舎において「九州クルーズ振興協議会総会」を開催し、平成 28 年度事業・収支報告及び平成 29 年度事業計画・予算案を承認しました。

また、総会終了後、（公財）九州運輸振興センターとの共催による「第 18 回海事振興セミナー」を開催しました。

◇内容

・冒頭、竹島和幸会長が「日本のクルーズ人口が過去最高の 2 万 8 千人にまで増加するなど順調にクルーズというレジャーが国内に浸透しつつあることを踏まえ、地域に密着したクルーズや旅客定期航路における利用者の拡大など、九州のクルーズ人口の拡大を図るため、各種情報の発信など積極的に取り組んでいきたい。」と挨拶。

・また、九州運輸局の岩本泉次長から「特に働き方改革、ワークライフバランスが声高に叫ばれている今日、日本人の余暇の過ごし方やライフスタイルが見直されていけば、クルーズにとっても大きなチャンス。」との挨拶がありました。

・議事終了後の情報交換では、商船三井客船（株）営業グループ課の松本課長から「日本船クルーズの現状について」、続いて国土交通省海事局外航課の矢島国際海上輸送企画官から「我が国のクルーズ等の動向について」報告がありました。

・総会と同時に開催された第 18 回海事振興セミナーには約 140 名が出席し、講師としてお招きした九州地方整備局港湾空港部の堀田治部長による「九州におけるクルーズの動向について」と題した講演が行われました。「家族連れで参加しやすいツアーが増えるともっと良い。日本船社による安全・安心のツアーには潜在的な需要がある。クルーズ船による観光は大きなチャンスである。」と激励の言葉を

いただきました。

◇九州運輸局からのメッセージ

今後とも九州へのクルーズ船の寄港が増加するよう各自治体のクルーズ船誘致活動に協力していくとともに、地域に密着したクルーズや旅客定期航路における利用者の拡大など、九州のクルーズ人口の拡大を図るため、九州クルーズ振興協議会事務局として各種情報の発信など積極的に取り組んでいきたいと考えています。

(九州クルーズ振興協議会事務局)

※九州クルーズ振興協議会HPはこちら <http://www.kyushu-cruise.com/>

◇総会等の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーをご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_361_2.pdf

◆「VISIT JAPAN EAST ASIA Travel Mart2017」が開催されました

◎6月27日(火)、28日(水)、熊本県のグランメッセ熊本(益城町)及びホテル日航熊本(熊本市)において、JNTO(日本政府観光局)主催による「VISIT JAPAN EAST ASIA Travel Mart2017」が開催され、九州運輸局も参加しました。

◇内容

・訪日旅行商品の造成と訪日外国人旅行者数の拡大を図るため、東アジア市場(中国、韓国、台湾、香港)から現地旅行会社の旅行商品造成担当者等100人を九州に招請し、国内の宿泊施設や観光施設、旅行会社、地方自治体など観光関連団体100者と2日間にわたって商談会を実施しました。

・初日は、意見交換会が開催され、オープニングでは九州各県のマスコットキャラクターや熊本城おもてなし武将隊が登場し、出席者を歓迎しました。

・商談会終了後、被招請者は全5コースに分かれて九州全県を巡るファムトリップに参加し、食・自然・施設など九州の魅力を実際に肌で感じていただきました。

◇九州運輸局からのメッセージ

今回、九州で初めての開催となりました「VISIT JAPAN EAST ASIA Travel Mart」は、東アジア市場の旅行会社担当者が直接体験していただいたことで“九州”に対する認知度が向上し、必ずや九州への旅行商品造成に繋がっていくものと思います。九州運輸局では、今年もVISIT JAPAN 地方連携事業を始め多くの事業を予定しており、九州への訪日外国人旅行者の誘致に取り組んでまいります。

(観光部 国際観光課)

◇商談会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_361_3.pdf

◆JR貨物 鹿児島貨物ターミナル駅で鉄道コンテナ施設等見学会を開催しました
～モーダルシフトの推進に向けて～

◎九州運輸局では、6月27日(火)、日本貨物鉄道株式会社九州支社との共催並びに公益社団法人鉄道貨物協会、九州地方通運業連盟の協賛により、九州地方整備局

鹿児島国道事務所及び日本貨物鉄道株式会社鹿児島貨物ターミナル駅（ともに鹿児島市）において、平成 29 年度第 1 回「鉄道コンテナ施設等見学会」を開催しました。

◇内容

- ・施設見学会には、荷主やトラック事業者、倉庫業者等の担当者 19 名が参加。
- ・現地見学に先立ち、貨物鉄道輸送を利用することによる企業における環境への取組や事業経営におけるメリット、モーダルシフト推進に関する施策や鉄道コンテナ輸送の概要、鉄道貨物を一定の割合以上利用する場合のエコルールマーク認定制度など、関係企業が連携して取り組むモーダルシフトの方策等の説明を行いました。
- ・現地見学では、12 フィートドライコンテナ（側面・妻面開き、通風）や保冷コンテナ、31 フィートウイングコンテナ等各種鉄道コンテナの構造に関する説明、また、トップリフターを使用し実演を交えて荷役方法や輸送の安全性等の説明が行われました。
- ・意見交換の時間では、参加者から輸送の定時性向上や列車本数の増加、荷主の理解を得るための環境づくりの要望が寄せられる等、大変有意義なものとなりました。

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・モーダルシフト政策を推進している国土交通省では、その中でもCO₂排出量の少ない鉄道コンテナを有益なツールとしてその利用を推奨しており、そうした取組の一環として九州運輸局ではJR貨物との連携により見学会を開催しています。
- ・国土交通省では、平成 28 年 10 月から施行されている改正物流総合効率化法に基づき、物資の流通に伴う環境負荷の低減及び流通業務の効率化、省力化にかかる取組を支援しているところであり、モーダルシフトの推進に関する補助制度等もご用意しているところです。
- ・今後も見学会がモーダルシフトの推進はもとより、参加される皆様のビジネスチャンスにつながることを期待するとともに、モーダルシフト推進に向けて様々な取組を行っていきます。

（交通政策部 環境・物流課）

◇見学会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_361_4.pdf

2 お知らせ

◆7月17日（海の日）「小学生 乗船無料キャンペーン」

全国で 78 航路、九州運輸局管内では 9 航路において、小学生の無料乗船や、小学生や幼児の方にオリジナルグッズの配布が実施されます。この機会にご家族で船に乗って海や自然と触れ合ってみてはいかがでしょうか？

<http://www.jships.or.jp/children/>

◆海の日記念 16mm フィルム上映会

7月17日（月・祝）、門司港レトロ 旧大連航路上屋 2 階ホールで、「白いセールの夏休み」「シップヤードの青春」の上映会（無料）が開催されます。

ご家族連れで鑑賞されてはいかがでしょうか!?

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_361_5.pdf

<http://kanmon-mojiko.com/event/detail/post-104.html>

◆「訪日ウェディングツーリズムセミナー・交流会（香港市場）」への参加募集について

JNTO では、ウェディングツーリズムによる訪日旅行者数の増加と旅行消費の拡大を図ることを目的に、8月2日（水）福岡市にて開催する「訪日ウェディングツーリズムセミナー・交流会（香港市場）」の参加者を募集しています。（締切7/14）香港市場では、ウェディングツーリズムとして、結婚前に海外で記念撮影行い、結婚式でその写真を披露するのがトレンドとなっています。

この新たな切り口の取組みとして、日本国内ウェディング事業関係者に向けたセミナーや香港ウェディング業界関係者との交流会を実施します。

開催概要等詳しくはこちらをご覧ください。

http://www.jnto.go.jp/jpn/news/20170621_2.pdf

3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部日より //////////////////////////////////////

7月5日から福岡、大分地方で発生しました記録的な豪雨により被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。九州運輸局では初期対応として関係職員が一丸となって公共交通機関の被害状況の情報収集等全力で取り組んでおります。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
